



イラク復興支援群活動報告

17. 4. 14

イラク復興支援群

報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 日 (4月14日)

- ◎ サマーワ主力
- 人員・武器・銃具、異状なし
- 警備態勢：[REDACTED]
- 人道復興支援関連
 - ◆ 医療：ODA案件の調整
 - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
 - ・ 学校の改修：
 - 8カ所（サマーワ×4、マジット、スウェイル、ナジミ、ワルカ）での役務作業
 - ・ 道路の改修：
 - 3カ所（サマーワ×3）での役務作業
 - ・ PHCの改修：
 - プサイヤPHC竣工式
 - 別紙第1「プサイヤPHC竣工式」
 - 3カ所（サマーワ、プサイヤ、ワルカ）での役務作業
 - ・ 給水関連施設の改修：
 - 3カ所（サマーワ×2、ワルカ）での役務作業
 - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修：
 - 8カ所（サマーワ×7、ルメイサ）での役務作業
 - ・ 清掃事業関連施設の改修：
 - 1カ所（サマーワ）での役務作業
 - ◆ 人道復興関連物資等の輸送
 - ・ 密付関連物資の輸送調整（宿营地）

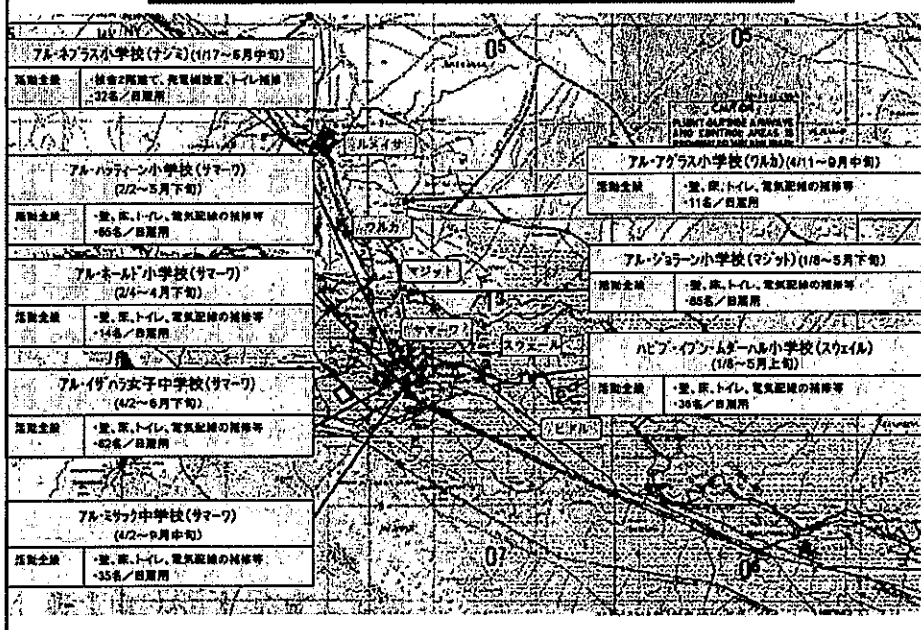
全 日 (4月14日)

- 宿营地関連施設の整備
 - ・ 医務室耐弾補修作業
 - ・ 耐弾性強化施設補修作業
 - ・ 緊急CF補修準備
 - ・ コンテナ再配置作業
 - ・ 運河監視キャパバン交換作業
 - その他
 - ・ 隊長、プサイヤPHC竣工式及びRO浄水機竣工式参加（プサイヤ）
 - 別紙第2「プサイヤRO浄水機竣工式」
 - ・ 対外経備関連：FUJ14月号原稿調整（宿营地）
 - ・ 供与RO浄水機により給水草証へ18両に対し約164t（約36,000人分）が配水された。
 - ・ 4月14日まで計約10,462t（約2,324,000人分）配水（4.5リットル/人・日換算）
 - ・ 4月14日現在の雇用人員
 - ・ 医療（PHC等）87名、学校修復320名、道路補修31名、青年・スポーツ関連172名、
 - ・ 清掃事業関連18名、給水関連52名、通訳58名、警備40名、給仕1名、ゴミ処理3名、
 - ・ し尿処理3名、清掃3名、土葺解体作業20名、エンジニア2名、タクシー20名、床屋2名、
 - ・ 弁護士1名、アドバイザー1名、電気工等3名、T-レックス操作等2名
- 計839名

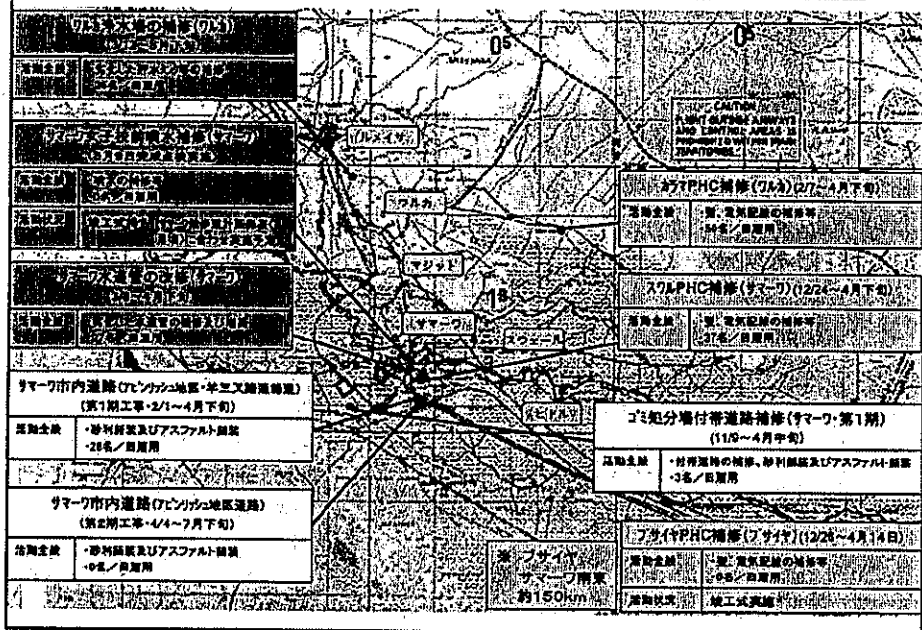
全 般 (4月14日)

- クウェート分遣班
 - ・ 戦力回復支援
 - ・ 旅行者調整・支払
 - ・ ACSA関連業務
(CFLCCとの調整)
- バクダッドLO
 - ・ 恒常業務
- バスラLO
 - ・ 恒常業務
- スミッティLO
 - ・ 恒常業務
- クウェート大使館LO
 - ・ 恒常業務

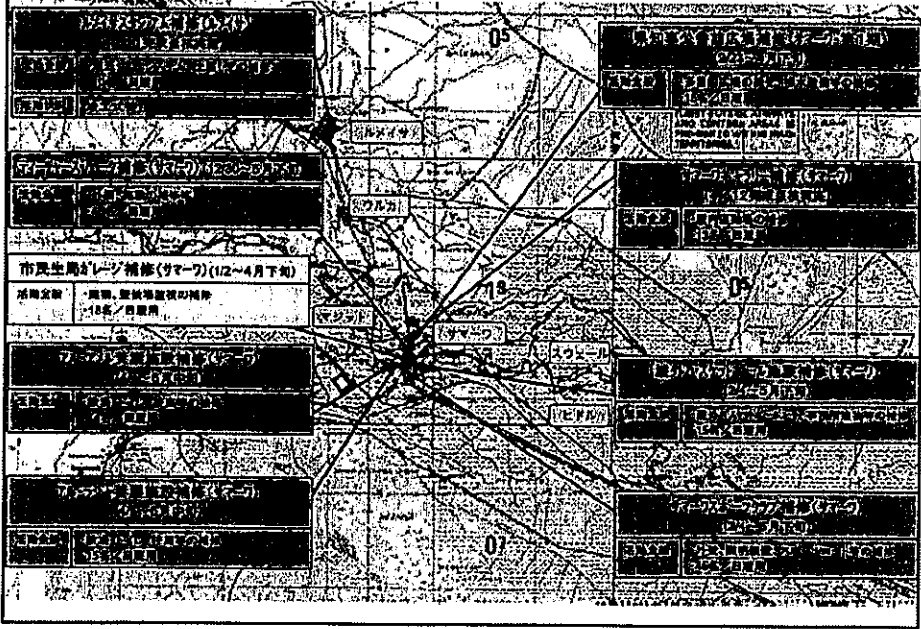
陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(4月14日成果/学校)



陸自入道復興支援活動(補修等)の概要(4月14日成果/道路、PHC、給水関連施設)



陸自入道復興支援活動(補修等)の概要(4月14日成果/青年、女性、福祉、清掃事業)



		上級・増大員数		下級・減小員数		人員現況																					
区分	所属人員	サマーワ			クウェート			バグダット			バスラ			キャンプ・アラブ			ドバイ			国外			国内			(備考) 異動の発生及び 増減人員の内訳	
		定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	定員	増減人員	所在人員	出人員	増減人員	所在人員	帰国(帰省)人員	増減人員	所在人員		
5次実務課	481	481	0	479	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	481	0	481	0	0	0	0	異動増減2名(バスラ)
6次実務課	10	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10	0	0	0	0	
異動実務課	100	75	0	72	0	20	4	0	4	4	0	1	0	1	0	0	0	0	6	100	0	108	0	0	0	0	増力増減4名(サマーワ)2名 (10W)ドバイ2名、増減増減0名 (10W)サマーワ増、異動増減2 名(サマーワ)バスラ
合計	600	566	0	561	0	20	4	0	4	4	0	1	0	1	0	0	0	0	6	600	0	600	0	0	0	0	

※ クウェートにはクウェート大使館LO1名を含む
 本日のIV電話使用者数：2名、FOMA使用者数：7名（1週間のIV電話合計：33名、FOMA合計：95名）

		車両																計		
区分	種別	小	中	救	軽	高	W	業	マイ	施	ホ	燃	冷	セ	大	特	浄		重	修
		型	型	急	甲	機	A	4	ク	設	タンク	油タンク	凍車	ミトレ	型	大	水セ	レ	理	
10	サマーワ	13	10	2	44	20	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	187
	シャイバ																			
	バスラ					1														1
	タリル																			
	バグダット																			
	計	13	10	2	44	21	7	1	22	7	5	4	4	31	9	4	1	1	2	188
KW	キャンプVA	1			2		2	1						6						12
	キャンプアラブ																			
	計	1			2		2	1						6						12
	総計	14	10	2	46	21	7	2	22	7	5	4	4	37	9	4	1	1	2	200

装備の現況 (武器)

		武 器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマワ							
	シャイバ							
	バズラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンプVA							
	キャンプアリゾン							
	計							
総 計								

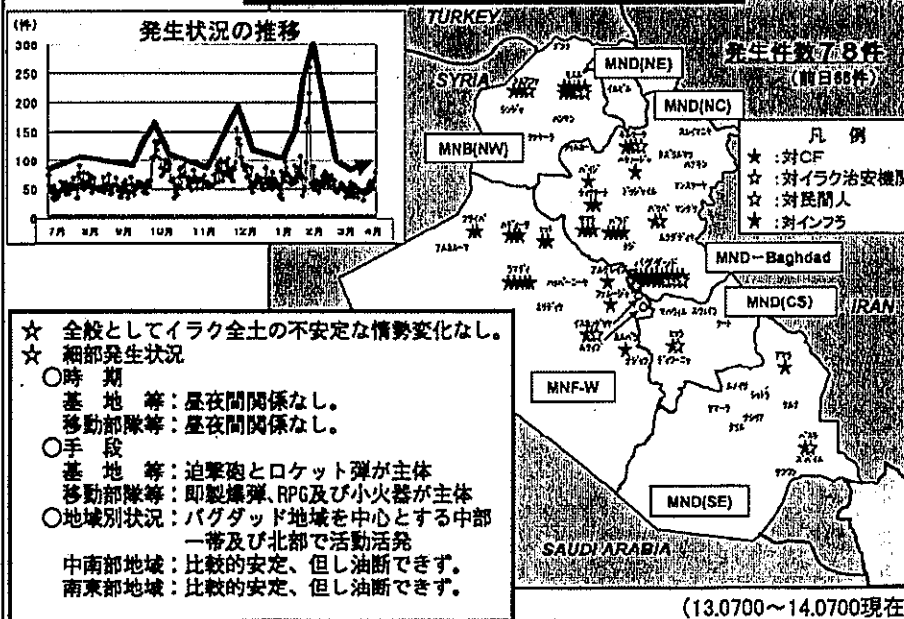
装備品等の可動・不可動の状況①

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	203	201	2	0	燃タ×1 吐出ポンプ圧力調整 バルブ摩耗 WAPC×1 座板亀裂	整備待ち 待送待ち
中型ドーザ	1	0	1	0	油漏れ(トルコン油圧ホース不良)	部品待ち
融着用冷凍冷蔵庫	8	5	3	0	発電機コンプレッサ冷媒漏れ	整備調整中
コンテナスキャナー	2	1	1	0	No2:画像映らず	故障探求中
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	99	65	16	18	オイルシール不良×13 エンジンドレイン不良×3	部品待×7 整備待×6 部品待×3
発動発電機(25kw)	70	63	5	2	オイルシール不良×5	部品待×5
発動発電機(50kw)	59	34	0	25		
発動発電機(180kw)	17	17	0	0		
遠距離大量送水システム	5	4	1	0	エンジン不良	待送中

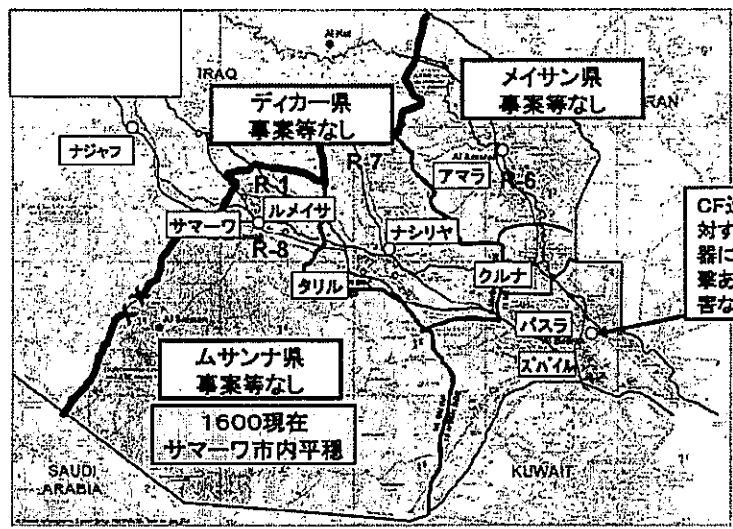
装備品等の可動・不可動の状況②

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考	
浄水セット	官品	4	4	0	0		
	民生	2	2	0	0		
遠距離監視システム	昼用						
	夜用						
近距離監視システム							
近距離監視装置(V7)							
微光監視装置(V3)							
空中監視装置							

事案等の発生状況(昨日)



● 本部要案等の発生状況 (13日16:00~14日16:00)



14日共同「軍事務所が発砲、1人負傷、サマワ」について

- 【記事の概要: 14日サマワ共同】
- 13日2300頃、イラク軍の事務所に向け 通行中の車から数発発砲
 - 警戒中のイラク兵が応戦、流れ弾が 通行中の市民に当たり足をけが
 - 警察やイラク軍が逃走した車を追跡中
- 【現在までの調査結果】
- 場所: 母子病院付近の車両チェックポイント (イラク軍事事務所ではない)
 - 不審な車両をイラク軍が停止させようとしたところ、不審車両側が発砲(けが人無し)
 - ほぼ同じ地域で、イラク警察に対し不審車両が発砲した事案があったとの噂もあり



※市内への入り口にあたる車両検問所には、イラク軍が配置されている場所もある

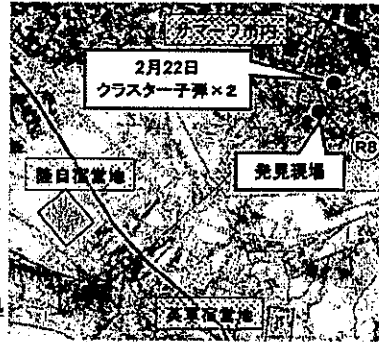
<評価>

- イラク軍事事務所が銃撃されたという事実なし
- 犯人は逃走中とのことであるが、状況から、武装勢力等による攻撃ではなく、犯罪レベルである可能性が高いと推測

13日共同「サマワで不発弾3発処理」について

【記事の概要: 13日サマワ共同】

- サマワで13日朝、不発弾3発が見つかり、イラク治安部隊や英軍が爆破処理
 - サマワでは湾岸戦争時の砲弾類が最近も多数見つかった
 - 3発のうち2発はクラスター爆弾、もう1発は戦車の砲弾らしい
 - 同現場で昨年別の不発弾が爆発、少年死亡
- 【現在までの調査結果】
- サマワ消防から英軍不発弾処理隊に通報
 - イラク警察が周辺を封鎖し、英軍府不発弾処理隊が1315現場において爆破処理
 - M42爆弾の子弾×8、82mm迫撃砲弾×1
 - 昨年少年が死亡した爆発事案は確認されていない(蘭軍展開以前の死亡事案はあり)



<評価>

- 不発弾が周辺に存在する地域であることを再認識⇒路外機動時等の注意
- 不発弾発生時のPJOC(県統合作戦センター)の統制機能が向上しつつあると推測できるひとつの事例
- 警察の周辺の封鎖の要領等はよく統制され、効果的かつ厳正に実施

イラク全土の全般情勢評価(4.14)

注意

(4月13日の報告以降変化なし)

区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> ●バグダッド中心に、中北部において武装勢力による多国籍軍及びイラク治安部隊に対する攻撃継続(北部(モスル)での攻撃増加) ●新政権の主要メンバー決定前後から、若干増加(一日平均40~50件台⇒50~60件台) 	3/7追加 4/13追加
スンニ派過激派	<ul style="list-style-type: none"> ●当面は現在のレベルでの活動(反多国籍軍・イラク治安機関・移行政府)を継続(急激な過激化への兆候はなし) ●アンサー・スンナとザルカウィGpが共闘の可能性 	4/11追加
前政権残党	<ul style="list-style-type: none"> ●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける 	
国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> ●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続 	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> ●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施 ●4/9のバグダッドでの大規模集会の成功により、存在をアピール⇒12月の選挙には単独で政治参加の可能性 	4/11追加
トレンド(特異事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●不発弾処理を狙ったIEDが増加傾向(9月以来5件)→最初のIEDの下に2番目が隠されており処理時に爆発 ●偽物IEDが増加傾向(処理隊の対処手順を観察か) 	4/5追加

イラク南東部の全般情勢評価 (4.14)

(4月11日の報告以降変化なし)

区分	内容	備考
全般	比較的安定→多国籍軍/SCIRI(シーア派政党)に対する脅威情報	3/10追加
スンニ過激派 国際テロリスト 前政権残党	●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続 ●前政権残党による多国籍軍(ヘリ含む)への攻撃の可能性	
サドル派	●行政機関への勤務、貿易の促進を提唱 ●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在 →最近の攻撃はサドル派の関与の可能性あり ●幹部殺害事案に関連し、多国籍軍批判強める可能性 ●サドル派はその存在感を増大させる可能性 ⇒一部の過激分子を抑えられるか否かが今後の鍵	3/12追加 4/11追加
MSR・ASR	・IED・自動車爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出し カージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生 ・ASRサークル路面状況悪化(タンバは4/20開通予定)	
タリル空港	・食堂に対する自爆テロ情報(業者を装い)あり ・IED・自動車爆弾、不発弾、空港への迫撃砲攻撃に警戒	3/14追加

ムサンナ県の全般情勢評価 (4.14)

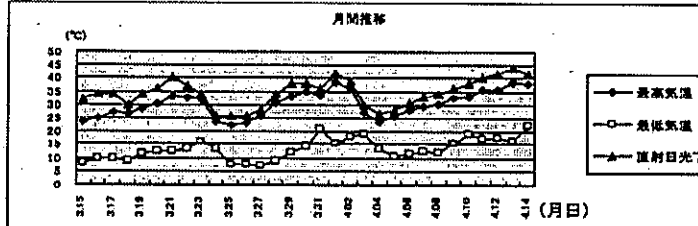
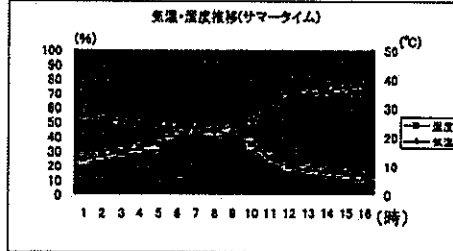
(4月9日の報告以降変化なし)

区分	内容	備考
全般	・比較的安定、しかしながら油断は出来ず ・英軍に対する市民の反応は、「様子見」の状態か →明確な敵意等の表示は市内で見られず	3/27追加 3/13追加
スンニ過激派 国際テロリスト	・スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低い、県外からの流入、他地域での活動のための準備等のため存在する可能性あり	
サドル派	・切迫した緊張感なし(蘭・英軍とサマーワ代表会談) ・サドル派民兵については特異動向なし(IP情報) ・幹部殺害事案に関連し、MNF批判強める可能性あり	3/5追加 4/9追加
部族関連	土地交渉等に不満を持つ一部の部族関係者が迫撃砲、又はロケットによる攻撃(脅し)を実施する可能性	
選挙関連	アルバイーン終了につき、各種デモ(反知事・雇用・サドル派等)が突発的に生起する可能性→市内活動は注意	4/3追加

現地の気象情報

報告内容

サマータイム
 日の出 : 0632
 日の入り: 1927
 天 候 : 曇りのち晴れ
 気 温 : 最高37.8℃、最低22.5℃
 : 最高42.0℃(直射日光下)
 湿 度 : 28.1%
 風 速 : E 5~7 m/s



4月15日(金)の活動予定

サマーワ本隊			
隊長(J1)	米支隊長(J2)	会議・会合・情報収集等(J92)	MNC-1副司令官 来訪対応(J101)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
1130-1450: MNC-1副司令官 来訪 対応 1450-1550: SNR会議参加移動 1600-1800: 各高官表敬 (キャンプ・ヴィクトリ ー)	1000-1030: 県治安最高責任者 対応 1130-1450: MNC-1副司令官 来訪 対応		1100-1200: ヘリポート警戒 1300-1450: RO施設・ヘリポート 警戒
1615-1845: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE) 指揮官電話会議(隊長)	
バックダットLC 以下3名同行			人員6名 車両2両 (LAV×2)

4月15日(金)の活動予定

サマーワ本隊			
MNC-1副司令官 未訪対応(J102)	GRF(J20)	MNC-1副司令官(マンス少将) 未訪対応(S2)	任務要員配置(S6)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
1100-1200: ヘリポート警戒 1300-1450: RO施設・ヘリポート 警戒		1130-1450	0530: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1130: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地 1930: 宿営地～運河警戒位置 ～宿営地
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE)指揮官電話会議(群長)	
人員6名 車両2両 (LAV×2)		群S-1計画	整備中隊計画

4月15日(金)の活動予定

サマーワ本隊			
警衛(S11)	浄水活動(S12)	群主力の行動(S15)	空中監視活動(S16)
0810-0830: モーニング・ミーティング			
	0730-1200: 大量送水システム 整備・運転	0800-1200: 指揮官時間 (1335-1430): MNC-1副司令官 宿営地内尋視兼 受け 1300-1600: 整備	0730-0730
1615-1645: イブニング・ミーティング		1715-1745: MND(SE)指揮官電話会議(群長)	
	給水隊計画	群S-1計画	群S-2計画

4月15日(金)の活動予定

クウェート分遣隊	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
・ 部隊交代調整	・ 恒常業務	・ 恒常業務	・ 恒常業務	・ 恒常業務

ブサイヤPHC竣工式

別紙第1



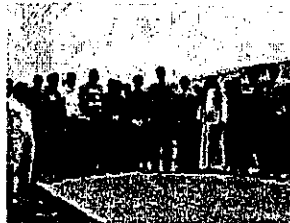
PHC全員



内部の状況



隊長スピーチ



参加者一同

ブサイヤRO浄水機竣工式



RO浄水機の前で



貯水タンク



群長が話す



式典での一言

モウサビヤ (14.08.10)

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項:
 - ブサイヤPHC竣工式及びRO浄水機竣工式参加のため不在につき、指導事項なし。

ワウサビヤ (14.6.15)

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項:
 - ブサイヤPHC竣工式及びRO浄水機竣工式参加のため不在につき、指導事項なし。

区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威 (2) イラク globally に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは [REDACTED] バグダッドは [REDACTED] モスルは [REDACTED]
2 特記事項	なし
3 本日の業務	(1) C2勤務 昼間 (0900-2100) 勤務: [REDACTED] 夜間 (1930-0730) 勤務: [REDACTED] (2) 情報収集及び情報資料の送付等 ア 兼支隊及び航事情報要求対応 [REDACTED] イ C2スタッフ送付件数 19 件 (3) MNF1 参謀長等のサマーワ訪問に関する調査及び翻訳機隊手段再調査 (4) SNRカンファレンス対応準備 (5) 車両整備
4 明日の予定	(1) 情報収集及び業務調整 (2) SNR表教及びイブニング・ソーシャル随行
5 その他(備考)	なし

区分	内容
1 警戒態勢等	バスラ空域 ・脅威レベル: [REDACTED] ・警戒態勢: [REDACTED]
2 特記事項	特になし
3 本日の業務	(1) 輸送機隊等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、海軍展開関連、BLUE on BLUE関連、MND(SE) [REDACTED] 関連 (3) 定例情報収集: [REDACTED] (4) 定例会議への出席: 司令官部会、夕食会、J2 艦隊統一会議、J3 艦隊統一会議 (5) IP設置: 通信班 [REDACTED] 他 [REDACTED] (4月15日帰隊予定) (6) 各種会議等参加調整 ア 4月20日: POLAD会議、CIMIC会議 イ 4月23日: MND Health Conference ウ 4月25日: 師団作戦会議 (7) MNC及びMND関係者のサマーワ訪問 ア 4月15日: MNC-1 副軍団長 イ 4月17日: MND(SE) 副団長
4 明日の予定	(1) コンボイ等不測事態対応待機 (2) 情報要求対応、定例情報収集 (3) 定例会議への出席 (4) 企画官及びIP設置要員の帰隊支援: 0820 (5) 各種会議等調整
5 その他(備考)	特になし

クウェート分遣班業務報告

17.4.14

全 般

○国内情勢等 ○人員・武器等異状なし ○人員報告:所属人員24名 事故人員5名(サマーワ業務支援3名、戦力回復2名) ○戦力回復支援、ACSA関連業務、現地調達等実施	○天候:曇り ○気温:22~36°C (直射日光下の最高気温41°C) 現在員19名
--	---

本日の活動状況

恒常業務	その他
○戦力回復支援(キャンプバーズニア~クウェート国際空港) ・戦力回復実施者の輸送支援 ・旅行者と次週戦力回復の調整・支払 ○ACSA関連業務(キャンプアリフジャン) ACSA支払に関するCFLCCとの調整 ○現地調達(クウェート市内) 消耗品	特記事項なし

明日の予定

恒常業務	その他
○部隊交代準備 5・6次群部隊交代の調整	特記事項なし

その他(教訓・要望事項等)

特になし。